

鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第12号・2014.4.8発行)

発行：(略称)コミバスをよくする会
事務局(仮)：辻井良和 方
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36
電話 386-0529 FAX 386-0646

第2回総会を開きました



2月12日社協センターで

コミバスよくする会は、今年2月12日午後1時から、鈴鹿市社会福祉センターで、第2回の総会を開き、役員ら30人が出席しました。

総会は、この2年間、会員の増加を進めてきたこと、各地の老人会などの協力を得て、コミバスの構想や、玉城町でのオンデマンドバスの人気などについて説明会を開いてきたことを報告し、全体の拍手で承認しました。

今年の重点事業は、 地域説明会と 1万人アンケート実施



また、これからの2年間の方針を、各地で説明会を開けるよう、各地の老人クラブの皆さんに協力をお願いしていくことや、当面、1万人のアンケート活動を行い、市民の世論を鈴鹿市に示していくことなどを決めました。

役員については、辻井代表、西村副代表、橋詰事務局長、他14名の役員を選出し活動していくことを決めました。

財政については、会費年間千円を続けることとし、1万人アンケートの印刷代などに重点的に使用するほか、5月13日(火)に、玉城町の元気バスの運用の実際について、見学会を開催することに使うことを了承しました。

玉城町元気バス見学会 5月13日(火)を決めました。

見学先の、玉城町で行っているオンデマンドバスの特徴とその便利さを実際に体験して貰いたいのです。また、管理運営を社会福祉協議会が行っていることで、福祉目的を重点に運行しているので、高齢者の外出支援に役立っていることや、高齢者が、医療機関を利用したり、町にある温泉施設を利用する場合の利便さ、健康教室の利用者の増加、国民健康保険料の医療費を抑える効果など、大事な行政活動にも大きな効果を上げていることなどを観てほしいと思います。

見学会申し込みは、 別紙の申込書で



見学会の参加申し込みは、同封の別紙申込書に記入してお申し込み下さい。

2年前の大型合併で、各市の面積は大幅に増えました。旧町村は過疎化が進みました。

★津市もその例にもれず、合併前の各町の福祉バスは残したものの、その運行範囲はそのままのため、津市役所まで繋がらず、不便だという声が上がっています。

★鈴鹿市は、すでに広い市域になっていますから、これまでにその解決をするべきでした。

★スーパー前で行ったアンケート活動では、「市役所や福祉センターへ行きたいが足がない(交通機関がない)ので、行けないので困っている」という声がたくさん集まっています。

★この声を、もっと多く拾い上げて行けば、鈴鹿市当局も、市民の交通政策を真剣に考えることでしよう。市民の声を伝えることから始まります。

発車オーライ

スーパーマーケットで アンケート活動、大賑わい

3月22・23日の2日間、マックスバリュ若松店様のご厚意により、店頭でコミバスをよくする会のアンケート活動を行いました。

9時半から昼過ぎまで行いましたが、買い物に来た皆さんの関心は高く、アンケート記入機はいつもいっぱい。2日間で150名近い方にアンケートをいただきました。

特に50歳前後の女性の方の関心が高いように感じました。それは「今はクルマで買い物でもどこでも行けるが、年を取ってクルマに乗れなくなったときどうなるか不安」「80過ぎの両親は、送迎しなければどこにも行けない」という声に現れている

ように思います。

アンケート活動に参加した会員からは、「多くの人が応えてくれて嬉しかった」「今後、他のスーパーでも協力してもらおう」「アンケートをいっぱい集めて、早く小型のコミバスを走らせたいたいね」などの感想があり、賑やかで楽しい活動でした。



実現の道は、多くの住民 の皆様の要求運動がカギ

私は、平成24年1月に鈴鹿市民のコミュニティーバス（Cバス）をよくする会を作りたいという趣旨に賛同し、地域住民の方々のためにお役に立ちたい思いから、微力ながら役員を務めております。

昨年度は、愛知県碧南市の市営のくるくるバス（無料）を見学と試乗しました。運転手と、乗客との家庭的なコンパクトなバスです。市役所を拠点に、ショッピングセンター、学校、市民会館、病院等々「8の字」に内回り、外回りと、くるくる運行しています。くるくるバスは、子どもが命名したそうです。停留所も350m毎にあり、市民のためのバスです。

わが町も、碧南市のくるくるバスのように、私たちは一日も早い導入を希望しております。

そのために、昨年6月に江島二丁目町民会館において、地域懇談会を開催しました。玉城町、町営の

元気バス（福祉バス）のDVDを視聴し、参加者の皆様と、意見交換を行いました。その後も各地区において、地域懇談会を有意義に開催しております。

今年は、アンケート1万枚（1万人）目標に、地区自治会、老人クラブの方々、他にお願いしております。すでに200枚ほどアンケートを記入していただいております。

また、役員の方をはじめ会員の皆様の力を借りて、一人でも多くの方々に声かけ運動に励みながら、アンケート1万枚達成に協力かつ努力しましょう。実現の道は、多くの住民の皆様の要求運動が必要不可欠と思います。

（江島第一松寿会会長 西村敏一）

あなたの回りで生活交通を考える 地域懇談会を開催しませんか

生活交通を考える地域懇談会では、玉城町「元気バス」のDVD（11分）を観て「会」の考えている思いをお伝えしたあと、参加者の皆さんの率直なご意見をお聞きしする場として、全体で60分程度を予定しています。

自治会や老人会の役員の方々と相談して計画していただいても、あなたの知人2～3人でお集まりいただいても、どんな形でもけっこうですので、地域懇談会をやってみようと思う方は、世話人までご連絡ください。

「私の街にもコミバスを走らせて」の声を広げ、会員を増やし、みんなの願いを実現させましょう。

今年度の会費を集めています。
年間会費は1千円です。
未納の方は、このニュースを届けて頂いている方にお願ひします。
または事務局にご連絡下さい。